

南臺科技大學 106 學年度第 2 學期課程資訊

課程代碼	E0M05001
課程中文名稱	論文寫作與指導
課程英文名稱	Thesis writing and guidance
學分數	3.0
必選修	必修
開課班級	碩研日語一甲
任課教師	榊祐一
上課教室(時間)	週四第 2 節(N507-1) 週四第 3 節(N507-1) 週四第 4 節(N507-1)
課程時數	3
實習時數	0
授課語言 1	日語
授課語言 2	
輔導考照 1	
輔導考照 2	
課程概述	研究の成果をまとめ、第三者に向けて発表する際に必要な技術を身につけるための訓練を行なう。「論文寫作與指導」という授業の性格上、「論文」という形での発表技術を身につけることが中心となることはもちろんだが、本授業ではそれだけにとどまらず、口頭による発表技術（レジユメの作り方なども含む）を身につける訓練も行なうこととする。
先修科目或預備能力	
課程學習目標與核心能力之對應	
中文課程大綱	担当教員によって比重は異なるものの、基本的には、上に述べた如く、 ・ 論文という形での発表技術を身につけるための訓練 ・ 口頭による発表技術を身につけるための訓練 の二つを柱とする形で授業が行なわれる予定である。
英/日文課程大綱	
課程進度表	本授業は、106 学年度 1 学期の「研究方法論」(さかき担当)の続きに当たる授業です。「論文寫作與指導」は本来、研究計画に基づいて行われた研究の成果をまとめ、第三者に向けて発表する際に必要な技術を身につけるための訓練を行なう授業ですが、本授業の受講者の大部分は、未だ研究計画の作成途上にあり、未だ研究成果を出す段階には至っていないと予想されますので、今回の「論文寫作與指導」でも、前学期に引き続き、研究計

	<p>画の作成を目標とした授業を行ないます。具体的には、ゼミ形式を採用し、「研究計画」の発表を各自行なってもらおうこととします。</p> <p>◆授業予定（受講予定人数は5人なので、その人数でスケジュールを組んでいます。なお、受講者数によって発表スケジュールが大きく変わる可能性があることを、あらかじめ断っておきます）</p> <p>3/1 ガイダンス。発表の順番決め。 3/8 通常授業＋発表準備 3/15 通常授業＋発表準備 3/22 通常授業＋発表準備 3/29 通常授業＋発表準備 4/5 休み 4/12 発表（一回目） ※発表者①（司会+相談役） 4/19 発表（一回目） ※発表者②（司会+相談役） 4/26 発表（一回目） ※発表者③（司会+相談役） 5/3 発表（一回目） ※発表者④（司会+相談役） 5/10 発表（一回目） ※発表者⑤（司会+相談役） 5/17 予備日 5/24 発表（二回目） ※発表者①（司会+相談役） 5/31 発表（二回目） ※発表者③（司会+相談役） 6/7 発表（二回目） ※発表者⑤（司会+相談役） 6/14 発表（二回目） ※発表者⑦（司会+相談役） 6/21 発表（二回目） ※発表者⑨（司会+相談役） 6/28 予備日</p> <p>※仮に発表予定者が途中でこの授業を受講することを止めた場合、発表順番を繰り上げます。</p>
<p>教学方式與評量方法</p>	
<p>指定用書</p>	<p>書名：特定のものはありません。授業時に適宜配布します。 作者： 書局： 年份： ISBN：</p>

	版本：
参考書籍	特定のものはありません。授業時に適宜配布します。
教學軟體	特になし。
課程規範	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究計画を作成するためには、先行研究の（100%近い）収集が必要となります。冬休み中に出来るだけ、多くの先行研究を集め、読んでおいて下さい。 ・ 授業はすべて日本語で行ないます。 ・ どのような理由であっても、みなさんが授業を休んだ場合、私は、「欠席」として大学の出欠簿（缺曠記録）に登録します。「公暇」「病暇」などの申請は、各自、自分で行なって下さい。 ・ 遅刻をしないようにして下さい。遅刻をした場合は、平常点から減点します。一学期の「研究方法論」では、遅刻が目立ち、何回か注意してもあまり改善されなかったため、今学期は遅刻に関して厳しい態度を取ることになります。